

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 6年 3月 31日

公表:令和 6年 4月 1日

事業所名 さん・さん高知(定員10名) 児童指導員 2名 指導員 2名

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	1	もう一部屋がある とよい	スペース的には十分であるが、一人一人への対応を更に充実させます
	2	職員の配置数は適切である	4		管理者を除き常時4人態勢で臨んでいる	低学年が増えてきているために職員の増員が望ましい
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4		要所に手すり、段差対策を施していること	現在車いすの利用者はいませんが万全の体制です
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	2	2		職員が全員参加が出来る様に時間的配慮をする
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4		調査結果を通知している	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4		ホームページやかわら版で公表している	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		4	保護者からのアンケートを重視している	法人では第三者評価は行っていない
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4		毎月の研修がある	外部研修の場を増やしていく予定
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4		利用者・保護者との時間を十分にとっている	忙しい保護者と面談を工夫してニーズの情報を得るように工夫する
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4			多様化に対応出来る様に、さらなるツールを準備する
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4		利用者本人や保護者の意見を取り入れている	引き続き取り組む
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4		毎日の職員会議で見直しも行っている	引き続き取り組む
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4		多彩な支援計画を立案している	引き続き取り組む
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4		4人の職員が分散して直接支援の利用者を決めている	引き続き取り組む
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4		送迎前の2時間をこの時間に設けている	引き続き取り組む
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4		朝・支援直前・支援後のショート会議が毎日行われる。	時間が短いので、今後は時間が取れるように工夫します
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4		相互チェックをしている	引き続き取り組む
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4		十分に時間を設けている	引き続き取り組む

19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	4			
----	---------------------------------	---	--	--	--

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4	学校との情報共有や、送迎時に担任職員との実態状況に毎日時間を取っていること。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	4	年1回、病院との情報共有を行っている	引き続き取り組む
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	定期的に集まりを設けている	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4		引き続き取り組む
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4		助言は不定期ですが、今後はもっと連携が出来る様にする
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	4	野外活動の場で行っている	今後はさらなる木安芸の場を設けてみます
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	4		あまり積極的ではなかったため、今後はもっと参加出来る環境を整えます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4	送迎時の保護者との会話時間を大切にしている	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	4		今年度は支援が出来る場を設けます。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	年度初めに説明をしている	今までは、変更がない場合には繰り返しの説明はありませんでしたが、今後は年1回の説明をします
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	必要に応じて個別面談を行っている	引き続き取り組む
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	年間6回のイベントに保護者を招待して交わりの時間を取っている	全利用者の保護者が参加出来る様に更なる工夫をします
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4	適切に職員会議を設けている	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	月1回の会報を発行している	今後はSNNを活用したり、ネットで情報が見られるように工夫します
	35	個人情報に十分注意している	4	職員倫理の学びしている	繰り返しの注意喚起を行っている
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4		今までは殆ど機会がありませんでしたが、今後はイベント等を企画してみます

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4	年に1回の周知は行っている	簡素化したマニュアル作成を行い、理解が深められるようにする
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	職員研修で学んでいる	最低、年間2回は行うことへの義務化
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	職員研修で学んでいる	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4		現在までは対象者がいませんでしたが、今後を考えて訓練をします
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	利用開始前に確認している(必須)	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	毎月の職員会議で対応している	職員間の理解は出来ているが